つなげよう・ひろげよう・ＮＰＯのわ

かにNPOだより

NO.172

休館日　１月 28 日（土）,29 日（日）

平成 28 年 1 月 25 日発行

【 食を通したまちづくり】
～親が子にしてあげられること～

「食のまちづくり条例」を定め、子どもが戻ってくるまちづくりを目指す大分県佐伯市の取り組みを聞いて可児市を考えます。

内容

講師講演　　10 時 00 分～ 12 時 00 分
～親が子にしてあげられること～

昼食・交流　　12 時 00 分～ 13 時 00 分

クロストーク　　13 時 00 分～ 15 時 00 分
～佐伯×可児　自炊塾の向こう側～

日　時：2017 年 2 月 18 日（土）10 時～ 15 時
場　所：可児市文化創造センター ala　レセプションホール
参加費：500 円　（定員 90 名先着順）
昼食代：1,000 円（希望者のみ）

【会計講座　決算編】

期末となる３月、日々の集計と決算書の作成を行います。事業者の方もどうぞ。

日　時：2017 年３月 17 日、24 日（金）
13 時 30 分～ 15 時 30 分
場　所：かにＮＰＯセンター
参加費：500 円
定　員：20 名（先着順）

【可児自炊塾 ソウルフード】

いろんな地域の食べ物を食べながら
おしゃべりしましょう♬

日　時：2017 年３月 19 日（日）
11 時 00 分～ 13 時 00 分
場　所：かにＮＰＯセンター
参加費：500 円
定　員：15 名（先着順）

【このページの催しに関する申込み・問合せ】　かに NPO センター　tel:　0574-60-

終わりました！

女性のための防災術

2016年1月12日（木）
かにNPOセンター
講師:山口由美子さん（防災士）

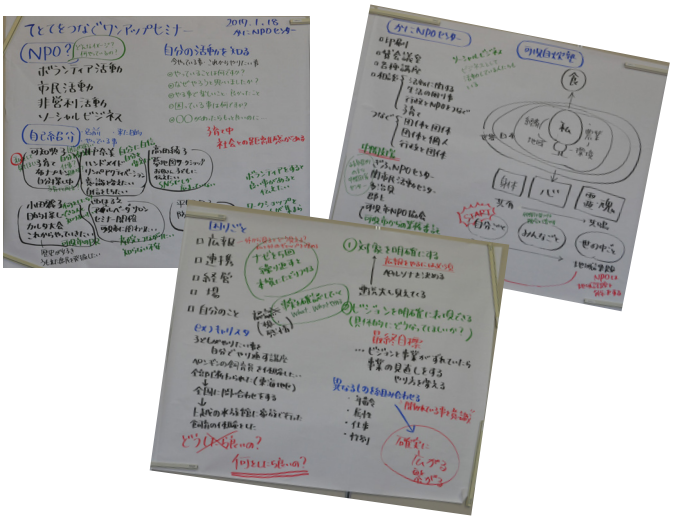
◀調理不要で食べることのできる非常食。

携帯簡易トイレ▶
思ったよりも小さく
組立ての練習が必要

いつ起こるか分からないけど、必ず起こる災害。**「今までの防災対策に女性ならではの視点を入れることで、誰もが排除されない居心地の良い環境を自分たちで作り上げることができる」**ということを教えてもらいました。災害といっても地震だけではありません。岐阜県は海が無いので津波が来ませんが、「地震・台風・竜巻・水害」など様々なことが想定されます。講座の中では実際に①冬、②深夜、③震度6以上の地震が起きたらまずどうしますか？という想定でシュミレーションをしました。**今まであまりに何も考えず生活していたことを反省しました。**という感想がたくさん寄せられました。

てとてをつなぐワンアップセミナー

2016年1月18日（水）
かにNPOセンター



・あなたは何をしていますか？
・それをしているのはどんな理由からですか？
・その先に誰のどんな姿が見えていますか？
など、今まで考えたこともなかった質問をされて戸惑いながらも意欲的に参加していただきました。子育てに追われて社会から隔離されているような不安を抱えたり、自信を無くしてしまったママと、子育てがひと段落しこれから何か始めたい方の世代を越えた交流がありました。

参加者の方からは**「初めて自分の内面と向き合うことをしました。良いきっかけになりました」「こういう講座があるということをもっとみんなに知ってほしいです。」**という感想をいただきました。ＮＰＯセンターで開催している講座は１回毎に完結する講座です。一つの物事を一つの方向から捉えた講座を参加者の方に合わせながら開催します。ですので、複数回参加することで異なる視点で物事を捉えることができるようになります。

★子育てインフォメーション★

子育てと食　（砂糖）

- 近年急増しているアトピー性皮膚炎・食物アレルギー・アレルギー性鼻炎（花粉症）
- 知らないうちに増えている砂糖の消費量。特に安くて甘い人工甘味料は増加の一途をたどっています。

大きく変化している食のあり方。明治時代の初め頃、人ひとりが一日に摂取するカロリーは1800kcal でした。経済発展に伴い昭和の初期には 2400kcal まで増えました。近年の健康志向により摂取カロリーは 2000kcal まで戻りましたが、ガンや生活習慣病で命を落とす人は増え続けています。

摂取カロリーが減っても増えているのは砂糖類（ショ糖・ブドウ糖果糖液糖）の消費量です。砂糖の害が広く知られるようになり、お菓子などの甘いものを控えたり使う砂糖の種類を変えたりする家庭が増えています。

砂糖による体へのダメージは私たちが思うよりも大きく、摂取する砂糖の量を控えるとアトピー性皮膚炎や食物アレルギー・アレルギー性鼻炎（花粉症）の症状が緩和されることも分かってきました。

子どもの健康を守ることができるのは、その周りにいる大人たちです。砂糖は脳に麻薬と同じくらいの快楽を与え、常用性も高く「ソフトドラック」と言われるほど影響が大きいです。素人判断で過度に糖質を制限するのは命を危険にさらすことになるのでお医者さんと相談しながら進めなければいけません。必要以上の砂糖摂取を控えることで改善される健康があるのも事実。まずは砂糖の摂取量を把握することから始めるのがおすすめです。食のあり方を考える良い機会になると思います。子どものアトピーや食に関する活動をしている団体があります。興味のある方はかにＮＰＯセンターまでお問合せ下さい。

可児市まちづくり助成金対象事業
～中間報告～

可児市民第九合唱団

～クリスマスコンサート 2016 ～

みんなで作り上げるクリスマスコンサートに来場者も参加者も大満足の時間を過ごすことができました。最後は恒例のイルミネーション点灯式で幕を閉じ、素晴らしいクリスマスコンサートとなりました。

新 着 図 書

ガバナンス　１月号　特集：人口減少社会と「地域運営組織」	ぎょうせい
フィリップ・コトラーのソーシャルマーケティングがわかる本	宮﨑　哲也・著　秀和システム
ソーシャルパワーの時代	玉村　雅敏・編著　産学社
いっぽんの鉛筆のむこうに	谷川　俊太郎・文　たくさんのふしぎ傑作集

可児自炊塾特集

2/18（土）食を通したまちづくりを目指して開講した
可児自炊塾の総決算、シンポジウム開催。

■子どもの育ちに必要な暮らしの時間（家族の団欒）が減り、それをどう取り戻すかが社会課題。
■暮らしの時間の充実が、大人の暮らしも豊かにします。
■具体的提案をするのが可児自炊塾です。

４つの キーワード

食

食品添加物？農薬？化学調味料？食の安全って何でしょうか？私たちの食生活の変化が私たちの暮らしをどう変えてきたのでしょうか？

子育て

子どものために良かれと思ってしているその行動が 10 年後、20 年後の子どもにどんな影響を与えるでしょう。今、親にできることは何でしょう・・・。

防災

避難グッズを揃えました！その後は？発災後、鍋・米・水があったらご飯は炊けます。でも、炊飯器でしか炊いたことがなかったら・・・自分でできますか？

まちづくり

30 年後の可児市を想像したことがありますか？未来の可児市を創るのは他の誰でもない私たち。特に 30 ～ 40 代、バブル崩壊後の「宴の後世代」です。

可児自炊塾は九州大学「自炊塾」の目標に共感し、2016 年度より 1 カ月に 1 度のペースで「食を通したまちづくり」をテーマに開講しています。講座では様々な知識を積み重ねることによって、「今を生き抜く力」を身に付けることができます。そうした力を持った大人に育てられた子どもたちがどんな未来・まちを創っていくのか想像しただけでワクワクします。（可児市以外でも大分県佐伯市・東京・長崎県対馬市で開催されています）

可児自炊塾シンポジウム～食を通したまちづくり～

日　時：2017 年 2 月 18 日（土）10 時～ 15 時
場　所：可児市文化創造センター ala レセプションホール
参加費：500 円　（定員 90 名先着順）
昼食代：1,000 円（希望者のみ）

参加申し込み受付中

内容

基調講演	10：00 ～ 12：00
	親が子にしてあげられること
昼食・交流	12：00 ～ 13：00
クロストーク	13：00 ～ 15：00
	佐伯×可児　自炊塾の向こう側

（特）可児市 NPO 協会

食を通したまちづくり

～親が子にしてあげられること～

シンポジウムの基調講演をして下さる柴田真佑さんは市の総合計画や過疎計画、「食のまちづくり条例」に関わる公務員でありながら全国を「食・子育て・防災・まちづくり」をテーマに講演活動をするスーパー公務員です。

『食べることは　生きること』～泣ける！笑える！食育のススメ～

佐伯市役所　まちづくり推進課　柴田真佑

食育と出会い、光が差し込み、涙した

「 子育てがうざい！だから産みたくなかったのよ！」
「 子どもが邪魔で遊べない！誰か子どもいらない？」
「 公営住宅の台所全然使わないから家賃負けてよ！」
「 離婚するのとパートに行くのどっちが楽？どっちが儲かる？」
「 子ども一人くらいいなくてもいいんだけど、ゆずったらお金になる？」

福祉課を担当していた頃、若い親から聞いた言葉の数々・・・。そして、その家庭で虐げられる子どもたちの姿・・・。軽薄で乱暴な状況を目にするたび、「子どもって何だ？親って何だ？家庭って何だ？」と、私は憤りの感情を抑えながらため息をつくばかりでした。強い絆で結ばれているはずの家族が、いとも簡単に崩れ去る場面を多々目にするうち、若かった私は地域の未来をも悲観するようになっていました。

2007 年、企画課総合政策係に異動し、地域づくりを担当。その中の一つに「食育に関すること」という業務がありました。当時､食育の認知度は低く、年間の事業計画は皆無。当然、予算も０円。市政の重要案件が山積する中、まさに“お荷物業務”の状態でした。

そんな時､とある小学校の研修会で「食育」や「子どもが作る“弁当の日”」のことを知りました。この“弁当の日”提唱者竹下和男校長（当時 / 香川県滝宮小学校)にたどりつきました。「すげー､すげー､すげー・・・」心の中で何回もつぶやきました。冒頭に紹介した虐げられる子どもたち一人ひとりの姿が脳裏に浮かび、「変えられるかもしれない。救えるかもしれない！」と一筋の光が差し込んだ感覚を覚えました。地域づくりは人づくり。食育と地域づくりが結びつきました。

食育の価値を高め、「覚悟」を示すために！

地域づくりは人づくり。人づくりの基本は「食」。食育を一過性の事業に終わらせてはいけないと思い、「食育推進会議」と「食のまちづくり」を市議会に諮りそれぞれを条例として定めました。「佐伯市　食のまちづくり条例」の制定は「食」を重んじた地域づくりを進めるという、私を含めた「市の覚悟」を示すものだと考えています。

みんなで旗を振り風を送り続けましょう

この取組みは「食」を通じて未来を創る夢に満ちた活動。真っ当な価値観を持った人を育み、マチの将来を託す人材を生み出す崇高な事業だと考えています。地域（人）に奉職するものとして、この実践拡充には｢いのちをかける価値がある｣と本気で思っています。

（講演関連手記一部抜粋）

自炊塾とは？

九州大学持続可能な社会のための決断科学センター比良松道一准教授が担当する少人数セミナー。とても人気の高いセミナーで九州大学に入るよりもはるかに高い倍率を突破しなくては受講することができない。本気で「自炊」を身に付けたい学生のための実践的授業。

自炊塾目標

◆経済成長に伴う私たちの食生活の変化が、医療、福祉、農業、環境、教育分野における様々な問題といかに密接に関係しているかを学ぶ。

◆そうした問題を解決する上で個人の消費行動の変革がいかに大きな影響力を持つかを、自炊を通して体感する。

※九州大学シラバスより引用

掲示板

このコーナーでは、広報紙同封情報送付シートでお寄せいただいた各団体からの情報を掲載していきます。
また、ホームページ上の「市民活動カレンダー」にも掲載します。　皆様からの情報をお待ちしています！

◆◆　森の学校　◆◆

里山でシイタケの菌打ちを体験し、
キノコの作り方を学びます

日　時：2017 年 3 月 4 日（土）
9 時 00 分～ 12 時 00 分
場　所：我田の森（久々利）
参加費：無料
（定員 10 組　最小催行 4 組　先着順）
対象者：小学生とその保護者
申込み：2 月 1 日（水）～ 22 日（水）
【主　催】 里山クラブ可児
【問合せ】 090-7918-0909（大見）
ak_omi@ybb.ne.jp

◆◆　パソコン講座　◆◆

テキストを選んで
都合の良い時間に受講可能

日　時：2017 年 2 月 9 日、23 日（木）
10 時 00 分～ 12 時 00 分
13 時 30 分～ 15 時 30 分
場　所：かにＮＰＯセンター
参加費：1 回 2 時間 500 円
（別途テキスト代 800 円）
【主　催】 ＩＴ寺子屋
【申込み】 0574-64-0393（大野）
随時申込み受付

◆◆　さといも塾受講生受講生募集　◆◆

サトイモやその他の野菜の栽培・収穫を
体験する講座の受講生を募集します

日　時：2017 年 3 月 23 日（木）～
2018 年 3 月 15 日（木）　15 回程度
場　所：可児市福祉センター、近隣の耕地
受講料：2,000 円 / 年
定　員：70 名（応募者多数の場合は抽選）
【主　催】 NPO 法人さといも塾
【申込み】 葉書に住所・氏名・年齢・電話番号明記の上郵送
〒 509-0206 可児市土田 4267-6
NPO 法人さといも塾事務局
080-5101-1186（有馬）

NPO センターホームページで各団体活動スケジュールPR

かに NPO センターの HP からセンター会議室の空き状況が確認でき、仮受付ができるようになりました。各市民団体の活動スケジュールも分かりやすく載っています。まちづくり活動助成の情報も分かりやすくなりました。
http://kani-npo.gr.jp/

センターに届いた情報は様々な媒体を使って発信していきます！ぜひ情報をお寄せください。
掲載媒体によって締切が異なりますので詳しくはかに NPO センターでご確認ください。

～１月市民活動カレンダー～

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
26	27	28	29 NPOセンター休館日（12/29～1/3）	30	31	01
02	03	04	05	06	07 ◆おもちゃ病院 9：00～11：00 福祉センター ◆長坂ふれあい寄席 10：00～11：30 ふれあいセンター長坂	08 NPOセンター休館日
09 ◆かにぱそ 10：00～12：00 13：00～15：00 今渡公民館	10 ◆かにぱそ 13：00～15：00 帷子公民館	11	12 ◆女性のための防災術 10：00～12：00 かにNPOセンター ◆にこにこ子育て教室 10：00～11：30 可児市保健センター	13 ◆かにぱそ 10：00～15：00 今渡公民館	14 ◆IT寺子屋 10：00～12：00 かにNPOセンター	15
16 ◆かにぱそ 10：00～12：00 13：00～15：00 今渡公民館	17	18 ◆ワンアップセミナー 10：00～12：00 かにNPOセンター	19 ◆かにぱそ 13：00～15：00 帷子公民館 ◆IT寺子屋 10：00～12：00 13：00～15：00 かにNPOセンター	20 ◆にこにこ子育て教室 10：00～11：30 可児市保健センター	21 ◆おもちゃ病院 9：30～11：30 かにNPOセンター	22
23 ◆かにぱそ 10：00～12：00 13：00～15：00 今渡公民館	24 ◆かにぱそ 13：00～15：00 帷子公民館 ◆不登校児母の会 19：00～21：00 かにNPOセンター	25	26 ◆にこにこ子育て教室 10：00～11：30 可児市保健センター	27 ◆みんなで唄う音楽会 13：30～15：00 愛岐ケ丘集会所	28 ◆おもちゃ病院 9：30～12：00 帷子児童センター NPOセンター休館日	29
30 ◆かにぱそ 10：00～12：00 13：00～15：00 今渡公民館	31 ◆鬼ヶ島おんでこ祭り 21：00～ 可児川戸走橋下中州	01	02	03	04	05

◆IT寺子屋　内容・受講料・開催場所が曜日によって異なります。 0574-64-0393　担当大野さん

◆鬼神太鼓事務局　090-7300-7107　担当寺澤さん

◆かにぱそこんくらぶ　080-6945-3880　担当谷中さん

◆みんなで唄う音楽会　愛岐ケ丘ミュージックサロン　080-6945-3880　担当谷中さん

◆不登校児母の会　090-8076-9607　あおむし倶楽部　担当山口さん

◆長坂ふれあい寄席　090-6649-8020　担当尾石さん　　090-8327-8296　担当油永さん

※詳細は必ず主催団体に問合せて確認してください

（特）可児市NPO協会

助成金情報

第 18 回社会貢献基金助成

【実施団体】（一財）全日本冠婚葬祭互助会
【 関 連 URL】https://www.zengokyo.or.jp/social/fund2/support/content01/#bosyuyoko
【問い合わせ】
一般財団法人　冠婚葬祭文化振興財団
社会貢献基金助成　運営事務局
〒 105 － 0004
東京都港区新橋 1-18-16 日本生命新橋ビル 9F
電　話：03 － 3596 － 0061
（メールでのお問い合わせ不可）
【募集時期】
2016 年 10 月 1 日～ 2017 年 2 月 28 日
【内容／対象】
■助成の目的
この基金は、地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成を行い、以て日本の生活文化と地域社会の発展に寄与することを目的としています。
■助成対象
原則として、平成２９年度事業（平成２９年助成金の交付決定日（５月中下旬頃）～平成３０年３月の間に開始し、終了する事業）を対象とします。
(1) 研究助成事業
テーマ「婚礼（結婚式）、葬儀（お葬式）など儀式文化の調査研究」
(2) 高齢者福祉事業
(3) 障害者福祉事業
(4) 児童福祉事業
(5) 環境・文化財保全事業
(6) 国際協力・交流事業
【助成金額】
助成金総額：10,000,000 円
1 件あたりの上限額：2,000,000 円

医療・健康向上貢献事業助成

【実施団体】（公財）テルモ生命科学芸術財団
【 関 連 URL】https://www.terumozaidan.or.jp/support/application/medicine.html
【問い合わせ】
公益財団法人　テルモ生命科学芸術財団
担当：窪田、加藤
〒 259-0151　神奈川県足柄上郡中井町井ノ口１５００
TEL：0465-81-4236　FAX：0465-81-4237
e-mail：zaidan@terumo.co.jp
【募集時期】
随時
【内容／対象】
■助成の趣旨
国内の医療・健康の向上に貢献する事業を行っている非営利団体に対し、助成をしてその事業を支援します。
■対象分野
保健・医療・福祉
医療教育、医療普及啓発活動、検診 / 患者支援の促進等、医療・健康の向上に貢献する事業。但し、採択より 1 年以内に開始できる事業に限ります。直接社会に貢献できる事業を支援します。
【応募資格】
公益事業として医療・健康向上に貢献する事業を継続して行っている下記のような団体
・公益法人（社団 / 財団）、認定 NPO 法人、NGO 法人等
【助成金額】
1 件あたりの上限額：1,000,000 円

【お知らせ】 かにＮＰＯセンターでは、Facebook でさまざまな情報を発信しています。
講座・イベントのご案内・市民活動のようすなどを随時掲載しております。是非ご覧ください。
Facebook ページ：http://www/facebook.com/kaninpo

★★ 編集後記 ★★

2017 年酉年飛躍の年です。皆さまの活動が広がって繋がるお手伝いをさせていただきたいと思います。私が NPO だよりを編集するようになって一年が過ぎました。あっという間でした。今年もよろしくお願いいたします。（W）

【編集・発行】かにＮＰＯセンター　Tel：（0574）60 － 1222　Fax：（0574）60 － 1250
〒 509-0203　岐阜県可児市下恵土 5166-1　可児市総合会館分室内
【利用時間】9：30 ～ 17：30（年中無休）　HP：http://www.kani-npo.gr.jp
e-mail：knc@kani-npo.gr.jp　facebook：http://www.facebook.com/kaninpo